

■ 全体講評

IT ストラテジストの午後 I 試験は、記述式 4 問出題のうち 2 問を選択解答します。問 1 は産業用機械製造メーカーでのデジタルトランスフォーメーションについての問題、問 2 は証券会社の新商品の企画と情報システム基盤の整備についての問題、問 3 は小中学校連携に関連したシステム統合に関する問題、問 4 は高齢者向け電動カートの新製品企画についての問題でした。このように、様々な業種やテーマが広範囲にまたがって出題されています。自分の経験や知識を生かせるテーマを選んで解答することが大事ですが、ドメイン知識の有無は解答にそれほど影響なく、問題文に従って考えて解答することが可能です。あまり専門にこだわらずに、解答しやすい問題を選んでください。

試験では、問題を読んで即座に各問題で解答のしやすさや難易度を推定し、どの問題を選択するか適切な判断が求められます。長文となる問題文を読んで、すぐに設問に答えなければならないので、時間が足りなくながちです。短時間で解答しやすい問題を選ぶのも、能力の一つになります。設問をよく読んで「何が要求されているか」をすばやく理解することが重要です。そのためには、いきなり問題文を読むのではなく、まず設問から読むことが有効です。その際は、設問を読みながらポイントとなるところにアンダーラインを引いて、設問内容を意識しながら問題文を読むことが重要です。

また、出題者の意図をよく考えて解答することも重要です。設問で何が問われているかを必ず確認し、ポイントになる内容を分かりやすく記述することです。今回の公開模試でも、設問で問われていないことを答えている解答が多く見られました。出題者の意図をよく踏まえて適切に解答していくことを心掛けてください。

試験当日は、集中力、精神力、体力の勝負になるので、最後まで粘ってあきらめずに、必ず合格するという強い意識をもって臨むようにしましょう。

問1 機械製造メーカーにおけるデジタルトランスフォーメーションの推進

【採点基準】

〔設問1〕

解答例の趣旨に添って適切な解答であれば 8 点。

〔設問2〕

解答例の趣旨に添って適切な解答であれば 7 点。

〔設問3〕

(1)解答要点を適切に言及していれば各 6 点。

(2)迅速に対応できることを適切に表現した解答であれば 7 点。

〔設問4〕

(1)解答例の趣旨に添って適切な解答であれば 8 点。

(2)解答例の趣旨に添って適切な解答であれば 8 点。

【講評】

機械製造メーカーでのデジタルトランスフォーメーションの取組事例です。新たな IT 活用による業務改革という、必然性のあるシチュエーションで典型的な内容を問う問題で、取り組みやすかったと推測されます。取り組みやすいものの解答要点が散漫になりやすくなるので注意が必要です。

設問 1 では、

顧客満足度の低下が解答のキーとなりますが、これは状況説明であり、問題という表現としては、シェアや売上に言及する必要があります。ここまで踏み込んで解答してほしいところです。

設問 2 では、

チャットボットの動作ログに着目して考えます。回答が役に立たなかったを選択する旨を解答して、正解です。これは比較的正答率が高かったと思います。

設問 3 では、

解答要点を押さえた解答は正解にしましたが、要点の不足や表現が曖昧な解答は半分の得点にしました。

設問 4 では、

解答要点が読み取れる場合は正解にしましたが、意味がはっきりしない曖昧な表現は誤りとしました。

答案用紙誤植のお詫び

問 1 設問 3 (1)の解答欄に誤りがあり、誠に申し訳ございませんでした。

今後、再発防止策を講じ、より一層、慎重に公開模試制作を行ってまいります。

問2 証券会社の新商品の企画と情報システム基盤の整備

【採点基準】

〔設問1〕

解答例と同様の趣旨の解答に対して 8 点。解答要点が足りないものは適宜 4 点。

〔設問2〕

(1)アナリストの存在に言及し適切な表現の解答に対

して7点。

- (2)対面型販売とハイレベルなオペレータの対応について言及できて、適切な解答表現であれば7点。

【設問3】

- (1)若年層の取り込みに関して適切に表現していれば7点。

- (2)DX 人材の育成に言及して適切に解答を表現していれば7点。

【設問4】

- (1)クラウドサービスとコスト削減に関して適切に解答を表現していれば7点。

- (2)信用取引審査の迅速化に言及して適切に解答を表現していれば7点。

【講評】

問1同様にDXに関する問題です。証券会社を題材にして製品やサービス、ビジネスモデルの変革について、問われています。問題文をしっかり読んで、解答要点をしっかり押さえれば高得点が期待できる問題です。

設問1では、

SWOT分析という脅威を適切に理解し、問題文の記述から解答を抜き出す必要があります。適切にキーワードを押さえた解答を正解としています。

設問2では、

問題文の記述から解答を抜き出す必要があり、記述部分に準じたキーワードを押さえた解答を正解としています。

設問3では、

- (1)は新規顧客の獲得と若年層、スマートフォンの脈絡を押さえる必要があります。(2)はAIシステム部分の開発に関する記述をとらえて解答する必要があります。比較的正確率は高かったのですが、解答表現が曖昧な場合、得点を半分にしました。

設問4では、

- (1)は情報システム基盤に関する記述をとらえてキーワードを押さえ解答する必要があります。(2)はワークフローシステムの知識を基に適用できる事項をとらえて解答する必要があります。解答表現が曖昧な解答が散見されています。該当する問題文に準拠して解答しましょう。

問3 小中学校連携に関連したシステム統合

【採点基準】

【設問1】

- (1)学校ごとに提供情報に差があることが解答要点。解答例と同様の趣旨に6点。

- (2)小学校から中学校までの成績の経緯をきちんと解

答して6点。

- (3)教員側は通知表の負荷軽減、児童等側は私立中学進学情報が解答要点。解答要点をきちんと押さえて各5点。

【設問2】

解答例の趣旨に従った同様の解答に6点。

【設問3】

教員側は同じ内容のお便り配布に関する解答要点を適切に表現して6点。保護者側は、児童等情報の小中学校連携が解答要点。解答要点を押さえ適切な表現に各6点。

【設問4】

- (1)メンテナンスや更新がI氏に依存していることが解答要点。解答例と同様の趣旨に5点。

- (2)コミュニティ委員会の周知の機会について言及し、適切に表現している解答に対し5点。

【講評】

小中学校連携におけるシステム統合化の問題です。問題文の記述をしっかりとらえ、適切に分析した上で、問題を解決するポイントを探り解答する必要があります。比較的取り組みやすい問題ですが、キーワードを押さえず何となく解答してしまうと得点が伸びません。注意深く取り組む必要がありました。

設問1では、

- (1)問題文の記述「保護者への情報提供の学校間格差」という要点が抽出できます。正しく押さえて正解で、これが曖昧だと半分の得点にしました。

- (2)問題文の記述から「中学校で小学校からの成績の経緯が把握しにくいこと」が認識できます。このことを押さえて正解にしました。

- (3)教員側、児童等側、双方の立場を踏まえ、それぞれ該当する記述を押さえて解答する必要があります。

設問2では、

通知表作成につき問題文を探し、I氏が行った要件定義を押さえて正解です。

設問3では、

教員側、保護者側、双方の立場を踏まえ、それぞれ該当する記述を押さえて解答する必要があります。

設問4では、

- (1)ホームページの運用の脈絡から「メンテナンスや更新が属人的であること」を押さえ解答します。

- (2)自治体の方針の脈絡から「コミュニティ委員会の周知の機会の欠如」を押さえて解答する必要があります。要点の定まらない散漫な解答表現が目立つので注意しましょう。

問4 高齢者向け電動カートの新製品企画

【採点基準】

〔設問1〕

- (1)シニア電動カートの際の安定性が解答要点。要点を踏まえた解答に7点。表現が曖昧だと4点。
- (2)小回りを利かせるための見直しが解答要点。要点を踏まえた解答に9点。表現が曖昧だと5点。
- (3)大きさが同じでより高性能の部品供給が解答要点。要点を踏まえた解答に7点。表現が曖昧だと4点。

〔設問2〕

- (1)解答例の趣旨を押さえ適切に解答しているものに8点。
- (2)シニア電動カート側での動作設定変更及び通信モジュールが超小型ということが解答要点。要点を踏まえた解答にそれぞれ6点。

〔設問3〕

解答例の趣旨を押さえ適切に解答しているものに7点。

【講評】

シニア電動カートの新製品企画に関する問題です。典型的な組込み製品の企画について考察する問題で、組込み系に馴染みがなくても選択した人がいたように見受けられます。解答要点や表現が悩ましく、単純な抜き書きでとどまらないところがあり、得点を伸ばせなかった人が多かったようです。

設問1では、

問題文の文脈から解答を導きます。記述が散漫なものが目につきました。趣旨を適切な文章でまとめ解答しましょう。

設問2では、

設問1と同様の様相です。要点を明確に押さえ要領よく表現する必要があります。散漫になりやすいのでよく整理して解答しましょう。

設問3では、

これも解答の散漫さが見られましたが、単純な抜き書きではなく、幾つかの記述箇所から総合的に解答を整理していく必要があります。解答作成が悩ましいところが見られています。導出するのに考察が必要なのですが、手掛かりを基にまとめたいところです。

全体として、解答すべき要点を理解できても解答表現が拙いと失点してしまうことに注意しましょう。問題文の記述や重要なキーワードについては敏感にとらえて解答するよう心掛けてください。

以上